

①

令和5年度
9月補正予算(案)のポイント

令和5年8月31日



静岡市

令和5年度9月補正予算(案) 41億1,487万円【債務負担行為 36億9,781万円】

(一般会計:41億1,487万円【債務負担行為 36億9,781万円】)

※令和5年度予算額の累計 全会計 6,860億9,635万円 うち一般会計 3,618億8,515万円

1 ポイント

「子育て・教育環境の充実」、「地域経済の活性化」、「安全・安心の確保」の3つを柱に予算を編成

- 「子育て・教育環境の充実」として、学習環境を改善するため、市立中学校の特別教室への空調設備の設計を実施する。また、規格外農産物の有効活用や有機農産物の販路を拡大するとともに、学校給食を通じた食育を推進するため、規格外農産物等を活用した加工品を開発する。
- 「地域経済の活性化」として、企業立地を促進するため、開発可能性がある土地を抽出し、インフラや法規制の状況などを調査する。また、お茶の海外への輸出を促進するため、茶業者の海外における営業活動の支援などを実施する。
- 「安全・安心の確保」として、航空消防活動の維持や災害対応能力の強化を図るため、消防ヘリコプターの機体を更新する。また、適正な森林管理を推進するため、市内森林における裸地を把握する調査を実施するほか、台風2号で被災した道路・林道の復旧などを実施する。
- その他、決算の確定に伴う財政調整基金への34億2,000万円の積立金や施設の修繕事業費などを計上する。

2 予算(案)の規模

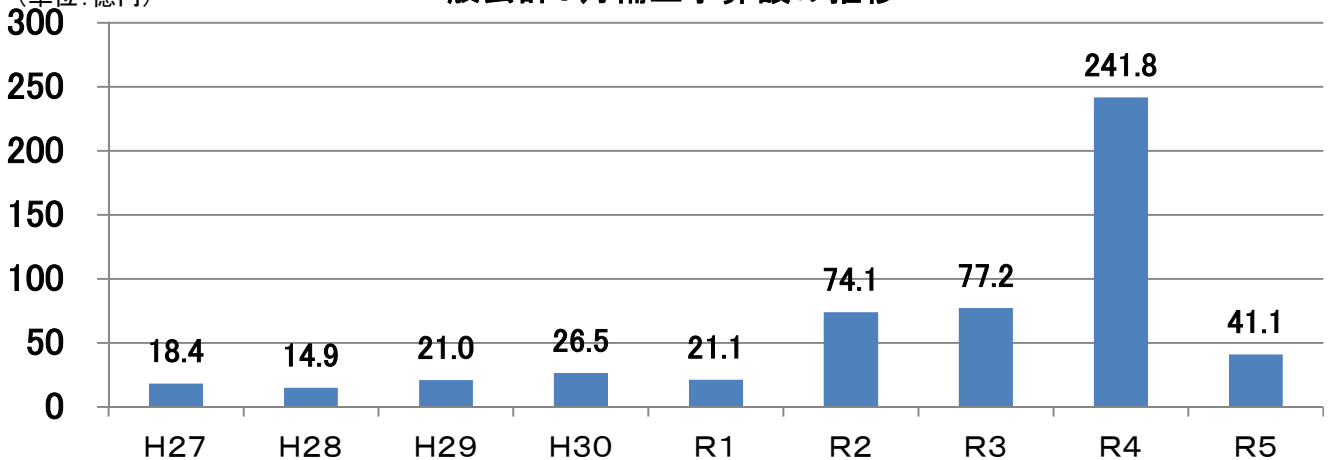
- 一般会計の補正予算の規模は約41億円の増額で、前年度と比較すると約201億円の減少。

(単位:千円、%)

区分	令和5年度 9月補正予算額	令和4年度 9月補正予算額	増減額	増減率
一般会計	4,114,868	24,183,216	△ 20,068,348	△ 83.0
特別会計	—	2,228,917	△ 2,228,917	皆減
企業会計	—	120,370	△ 120,370	皆減
合計	4,114,868	26,532,503	△ 22,417,635	△ 84.5

一般会計9月補正予算額の推移

(単位:億円)



※一千万円未満は四捨五入

3 予算(案)の財源

- 特定財源としては、主に台風2号の災害復旧事業に伴う国庫負担金、県補助金のほか、市債などを活用した。
- 一般財源としては、地方交付税、臨時財政対策債、令和4年度の決算剰余金(繰越金)を財源とした。

4 主要事業

A 子育て・教育環境の充実

【 債務負担行為 3,300 千円
134,000 千円 】

【要旨】

- 近年の気温上昇による熱中症等のリスクから児童生徒の健康を守り、学習環境を改善するため、空調設備の整備が完了している普通教室に加え、音楽室や理科室等の特別教室についても整備を進める。
令和8年の夏までに市立小中学校113校の特別教室851室の空調設備を整備するため、まずは、特別教室の利用率が高い中学校41校の411室分の空調設備の設計を実施する。
- 生産性の向上や有機農業の推進などの次世代型農業に転換する取組が重要となっている。
規格外農産物の有効活用や有機農産物の販路を拡大するとともに、学校給食を通じた食育を推進するため、市立小中学校の給食で提供する規格外農産物等を活用した加工品を開発する。

【個別事業の概要】

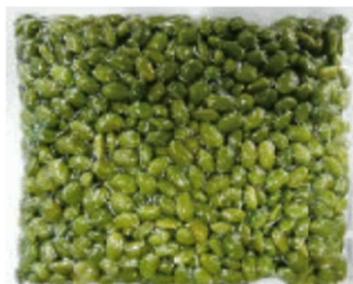
(単位:千円)、()内の数字は債務負担行為の限度額

事業名	特別教室空調設備整備事業				
補正額	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
	(134,000)		(100,500)		(33,500)
目的	市立小中学校に空調設備を整備することで、熱中症等のリスクから児童生徒の健康を守り、学習環境を改善する。				
内容	市立中学校の特別教室に設置する空調設備の設計を実施 ・対象校数 市立中学校41校 411室 ※特別教室に設置する空調設備整備の全体概要(予定) ・対象校数 小学校72校440室、中学校41校411室、計113校851室 ・整備期間 令和5～6年度 設計(中学校分) 令和6年度 設計(小学校分) 令和6～7年度 工事(中学校分) 令和7～8年度 工事(小学校分)				
事業名	学校給食における持続可能な「食」と「農」を考える食育事業				
補正額	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
	3,300				3,300
目的	規格外農産物等を学校給食に活用することで、規格外農産物の有効活用や有機農産物の販路を拡大するとともに、学校給食を通じた食育を推進する。				
内容	規格外農産物等を活用し、市立小中学校の給食で提供する加工品を開発 ・開発数 2品 ・加工例 規格外農産物 → 冷凍加工品(一次加工)、コロッケなどの調理加工品(三次加工) 令和6年度以降、開発した加工品を活用した給食を提供する予定 ※規格外農産物や有機農産物の学校給食への活用に向けた検証(令和5年度現計予算で対応) ・小規模学校給食センターにおいて、規格外農産物や有機農産物の品質確認や調理工程等を検証				

○規格外農産物の活用例



大きさや色にムラがある枝豆



冷凍枝豆(一次加工)



コロッケ(三次加工)

B 地域経済の活性化(1)

15,000 千円
〔 債務負担行為 73,500 千円 〕

【要旨】

- 本市では、企業からの立地相談に対して、企業が求める条件に合った土地情報の件数が不足していることから、具体的な立地に結びつきにくい。
企業立地の実現のためには、より多くの開発適地を見出し、創出し、その情報をリスト化し、公開することが有効である。このため、開発可能性のある土地を抽出し、インフラや法規制の状況などを調査した上で、情報を公開するシステムを構築する。
- 茶業の成長産業化に向けて、お茶の需要が高まる海外への輸出を促進する必要があるが、茶業者の多くに輸出へのノウハウが十分でないこと等が課題となっている。
海外における販路を開拓するため、リーフ茶の輸入比率や購入単価が高いフランスにおいて、茶業者の営業活動の支援を行うプラットフォームを構築する。
このため、フランスへの輸出のノウハウを有する事業者を選定し、現地における営業代行や商談から契約までのコーディネートを実施する。

【個別事業の概要】

(単位:千円)、()内の数字は債務負担行為の限度額

1	事業名	企業立地用地開発可能性調査事業				
	補正額	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
		10,000				10,000
	目的	開発可能性のある土地を調査し、開発適地の情報をリスト化・公開することで、企業立地を促進する。				
	内容	<p>企業立地用地の確保に向けて、開発適地の情報をリスト化し、公開するため、開発可能性のある土地を抽出し、現況調査を実施</p> <p>・対象地域 ①平成27～28年度に調査した地域(既存調査地の再検証) 新東名新清水・清水いはら・新静岡インターチェンジ周辺、 東名清水インターチェンジ周辺、国道1号バイパス各インターチェンジ周辺</p> <p>②都市計画区域における調査未実施地域(追加調査) 新東名静岡スマートインターチェンジ周辺、国道1号バイパス沿線由比・蒲原周辺、 国道150号沿線小坂・用宗周辺、その他日本平など</p> <p>・調査内容 ①開発可能性のある土地の抽出 ②抽出した土地の現況調査 (地形、接道状況、上下水道等インフラの整備状況、法規制の状況、周辺状況など) ③現況を踏まえた開発の支障となり得る課題の解決手法の整理 →調査結果を踏まえ、土地の評価等を行い、開発適地の情報をリスト化、公開</p>				
2	事業名	お茶の海外輸出促進事業				
	補正額	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
		5,000				5,000
	目的	茶業者の海外における継続的な営業活動を支援することで、静岡市産茶の海外販路の拡大を図る。				
	内容	<p>フランスにおける茶業者の継続的な営業活動を支援するため、現地での営業代行や情報発信などを実施</p> <p>・支援対象 輸出を検討している茶業者</p> <p>・支援内容 ①現地での営業代行や商談から契約までのコーディネートの実施 ②茶農家・茶商の商品等のPRページを制作 ③現地のメディア・現地のマスコミを通じた情報発信</p>				

B 地域経済の活性化(2)

【要旨】

- まちの魅力を向上させるための統一した都市デザインをまちづくりに反映するために、その都市デザインを市民と共有や共感し、公民共創による取組に結び付けていくことが重要である。
静岡都心地区においては、令和6年度末までに都市デザイン指針や青葉通り周辺エリア等における基本計画等の策定を行う。
また、都市デザインと事業成立性の両面から実現可能性のある再開発事業等を促進するため、事業手法を整理検討する。
※清水都心地区については、令和6年度からまちなか再生指針の策定に着手予定。

【個別事業の概要】

(単位:千円)、()内の数字は債務負担行為の限度額

3	事業名	静岡都心地区都市デザイン推進事業				【債務負担行為 期間:令和6年度】
	補正額	事業費 (55,000)	国(1/2) (27,500)	市債	その他	一般財源 (27,500)
	目的	統一した都市デザインを市民と共有や共感することで、公民共創に基づく公共事業の実施及び民間事業を促進する。				
内容	統一したコンセプトによるまちづくりを推進するため、都市デザイン指針、基本計画等を作成 1 都市デザイン指針作成 空間特性の整理、指針の作成、指針運用体制の検討 など ・対象地域 静岡都心地区(商業・業務ゾーン) 2 基本計画作成 具体的な空間デザインの提案、基本計画の作成 ・対象地域 青葉通り周辺エリア、呉服町・紺屋町周辺エリア 3 詳細設計 JR静岡駅北口地下広場改修工事の詳細設計 ・対象地域 JR静岡駅周辺エリア 北口(JR静岡駅北口地下広場) ・実施期間 令和5年12月～令和7年3月(令和7年3月公表予定)					
4	事業名	静岡都心地区建物更新手法検討事業				【債務負担行為 期間:令和6年度】
	補正額	事業費 (18,500)	国(1/2) (9,250)	市債	その他	一般財源 (9,250)
	目的	静岡都心地区における実現可能性がある再開発事業等の事業手法を整理検討することで、既存建物の更新を促進する。				
内容	実現可能性のある再開発事業等の整理検討及び事業効果の試算を実施 ・実施内容 ①対象地域内における現状把握及び商圈分析 ②再開発事業による実施場所・規模・用途の整理検討 ③再開発事業実施に伴う事業効果の試算 ・対象地域 再開発促進地区(静岡地区) ※JR静岡駅北側 ・実施期間 令和5年12月～令和7年3月(検討内容は都市デザイン指針等と調整・反映)					



【通りの性格】	【広場・溜まり空間】
<ul style="list-style-type: none"> オレンジ色: 駅を中心に水辺とまちを結びつける交流の主軸 薄オレンジ色: 交流の主軸を補い沿道土地利用とセットでにぎわいを創り出す通り 緑色: 駅と水辺を結びつける憩いの通り 点線: 駅周辺の路地的通り 	<ul style="list-style-type: none"> 緑色: メインの広場・溜まり空間(人々が集う広場) オレンジ色: ゆとりと一体感のある空間を創り出すまちかど・交差点 青い矢印: 駅と周辺エリアとの連携

都市デザイン指針のイメージ(長崎市)

C 安全・安心の確保(1)



【債務負担行為 998,142 千円
3,000,000 千円】

【要旨】

- 平成19年度に導入した現在の消防ヘリコプターは、機体の点検費用の増加や整備に伴う運休期間の長期化が課題となっている。また、現在の機体の性能では、高山岳地における救助活動などで制約を受けることがある。
航空消防活動の維持や災害対応能力の強化を図るため、令和8年度からの新機体による運用に向け、消防ヘリコプターの機体を更新する。
- 森林の荒廃による土砂の流出量の増加が、近年、山地災害が頻発している原因の一つと考えられる。森林所有者等への造林指導等を的確に実施し、森林を適正に管理するため、3次元点群データ(静岡県のオープンデータ)や衛星画像を用いて、造林未済地や無届伐採地等の裸地を把握するための調査を実施する。

【個別事業の概要】

(単位:千円)、()内の数字は債務負担行為の限度額

事業名	消防ヘリコプター機体更新事業 【債務負担行為 期間:令和6~7年度】				
補正額	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
		(3,000,000)		(3,000,000)	
目的	消防ヘリコプターの機体を更新することで、航空消防活動の維持や災害対応能力の強化を図る。				
1 内容	令和8年度に導入から20年目を迎える消防ヘリコプターの機体を更新 ・主な性能 標高3,200mの山岳地(※)において、要救助者2名以上の救助が可能(現状:不可) ※市内最高峰 間ノ岳山頂3,190m 県外医療機関への搬送において、無給油で300km以上の航続が可能(現状:280km) ・時期 令和8年3月 新機体納入 令和8年4月~ 習熟訓練後、順次運用開始				
	 現消防ヘリコプター (愛称:カワセミ)				
事業名	森林現況調査事業				
補正額	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
	18,000				18,000
目的	市内森林における裸地を把握するための調査をすることで、森林所有者等への造林指導等につなげ、適切な森林の管理を図る。				
2 内容	3次元点群データ(静岡県のオープンデータ)や衛星画像を用いて、市内森林における造林未済地、無届伐採地等の裸地を把握するための調査を実施 ・調査面積 井川以北(南アルプス)を除く市内森林 54,112ha(市内森林全体面積 107,123ha) ・調査内容 ①3次元点群データの解析による地形の判読 ②最新の衛星画像と判読した地形の突合による裸地の把握 ③森林簿等との照合による森林所有者等の確認 → 結果を踏まえ、早期の現地調査や裸地の森林所有者等に造林などの確な指導等を実施 ※令和6年度以降、毎年撮影する衛星画像の変化をAIによる判別技術を活用し、継続的なモニタリングを実施。				
	 衛星画像と判読した地形の突合による裸地の把握(イメージ)				




C 安全・安心の確保(2)

【要旨】

- 令和5年6月2日の台風2号で被災した道路・林道を復旧する。
- 葵区昼居渡の住民等が使用する井戸の水量が低下していることから、井戸を新設し、地域住民の生活用水を安定的に確保する。

【個別事業の概要】

(単位:千円)、()内の数字は債務負担行為の限度額

3	事業名	道路災害復旧事業				
	補正額	事業費	国(66.7/100)	市債	その他	一般財源
		732,000	488,244	243,700		56
	目的	令和5年6月2日の台風2号で被災した道路の復旧を実施する。				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・被災箇所 (主)南アルプス公園線(葵区坂ノ上)など7路線8か所 ・実施内容 路肩復旧、兼用護岸復旧 など ・被災状況 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(主)南アルプス公園線</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(主)藤枝黒俣線</p> </div> </div>				
4	事業名	林道災害復旧事業				
	補正額	事業費	県(65/100、1/2)	市債	その他	一般財源
		234,500	62,600	122,200		49,700
	目的	令和5年6月2日の台風2号で被災した林道の復旧を実施する。				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・被災箇所 林道細木線(葵区桂山)など5路線5か所 ・実施内容 路肩復旧 など ・被災状況 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>林道細木線</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>林道有渡沢線</p> </div> </div>				
5	事業名	飲料水供給施設等整備事業費助成				
	補正額	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
		13,642				13,642
	目的	住民等が使用する井戸の水量が低下していることから、井戸の新設を行い、地域住民の生活用水を安定的に確保する。				
	内容	飲料水供給施設等の管理団体が実施する井戸新設事業に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> ・交付先 昼居渡簡易水道組合(葵区昼居渡) ・対象経費 調査井戸の試掘、井戸の新設工事 ・補助率 7/10 				